

地中海の「声の文化」ーポリフォニーー ーフランス南部編

第 1 部 「ポリフォニー」とは何か？ 司会: 沖淑子(地中海～中東の食と音楽のコーディネーター)

地中海沿岸やフランス南部に見られる「ポリフォニー」とそれを育んだ社会についてマルセイユを拠点とするポリフォニー・グループ「ル・クワール・デ・ラ・プレーノ」の実演を交えながらトークします。長谷川秀樹(横浜国立大学)によるコルシカ島のポリフォニーの紹介もあります。会場からの質疑応答も予定しています。

第 2 部 「地域語」で歌うとは？ 司会: 佐野直子(名古屋市立大学)

「ル・クワール・デ・ラ・プレーノ」の歌は、フランス語ではなく南仏のオクシタン語です。フランス南部にはフランス語以外に、オクシタン語、バスク語、カタルーニャ語、コルシカ語などの「地域語」が広がり、この地域語はポリフォニーを含む音楽活動に用いられてもいます。ではなぜ、彼らは地域語のオクシタン語で歌うのでしょうか？ 再び、「ル・クワール・デ・ラ・プレーノ」の実演を交えながら、幾つかの地域語の実状も加えて、トークおよび会場からの質疑応答も行います。

開催日時・場所

日時: 2014(平成 26)年 2 月 28 日(金)15 時より (第 2 部は 17 時より)

場所: 第 1 部ー横浜国立大学常盤台キャンパス図書館メディアホール
(附属中央図書館 1F、カフェ Shoka 隣り)

第 2 部ー同キャンパス教育人間科学部講義棟 6 号館 201 教室
(第 1 部会場から徒歩 1 分のところにあります)

入場無料(座席予約等は行っていません)

「ル・クワール・デ・ラ・プレーノ」Lo Còr de la Plana。

マニュ・テロン(写真中央)が中心となり結成された南仏マルセイユを拠点とする五人組のポリフォニー・グループ。南仏のオクシタン語で伝統歌・聖歌・民族歌からポップな音楽まで歌う独特のスタイル。初来日だが、2011 年には NHK の音楽番組(BS プレミアム)「Amazing Voice」で取り上げられている。マルセイユの下町プラナ地区を活動拠点にしながらも、フランス全国やヨーロッパ中でも多数ツアーを行い、多種多様なミュージシャンとのコラボレーションにも積極的である。



お問い合わせは cyrnea25@ynu.ac.jp まで

(長谷川秀樹: 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授)